

平城・相楽ニュータウンにおける地域活性化のための基盤整備検討調査

1. 調査の目的・必要性

平城・相楽ニュータウンの中心に位置し、交通結節点として重要な役割を担う高の原駅の駅前広場は、にぎわい創出のため人を中心のウォーカブルな広場への転換が必要であるため、民間事業者によるイベントの開催や複合施設の設置に合わせて、高の原駅前広場の再整備に係る概略設計やPPP/PFI導入可能性調査等を行う。

3. 調査成果

①高の原駅前広場の再整備に向けた基本調査等

- ・測量調査、交通量調査を実施し交通機能の規模を算定。
- ・駅前広場の整備の方向性を検討したのち、社会実験を通じ、将来の空間や活動イメージを試行。コンセプト【多世代がつながる「高の原らしさ」と暮らしの魅力の発信拠点】を設定した。
- ・現況基盤を活かすなど工事費の低減を図りながら、エリアマネジメント組織による運営等を見据えた空間を設ける案を基本計画として作成した。



社会実験の様子



概略設計・ランドスケーププラン

2. 調査の内容

①高の原駅前広場の再整備に向けた基本調査等

- ・駅前広場の現地測量
- ・駅前広場の空間再分配に向けたデータ収集
- ・駅前広場ロータリーのタクシーや歩行者等の交通量調査
- ・ニュータウン再整備に向けた基本計画の作成

②高の原駅前広場の概略設計等

- ・駅前広場の基本的仕様の検討
- ・駅前広場の概略設計図
- ・駅前広場の将来イメージパース作成
- ・駅前広場整備の概略事業費の算出

③高の原駅前広場のPPP/PFI導入可能性検討調査

- ・駅前広場再整備手法（PPP/PFI）の選定
- ・駅前広場再整備に向けた官民の役割分担

②高の原駅前広場の概略設計等

- ・駅前広場再整備に向け、公民連携による一部施設の運営・管理等について盛り込んだ「高の原駅前広場デザインガイドライン（案）」を作成。
- ・基本計画及びデザインガイドラインに基づき、概略設計図を作成した。
- ・概略設計図、公民連携の方針等から概算工事費を算定した。



駅前広場の将来のイメージパース

③高の原駅前広場のPPP/PFI導入可能性検討調査

- ・公民連携のエリアプラットフォームの立ち上げに向けて準備会を実施。「高の原エリア公民連携アクションプラン（案）」を作成した。
- ・「駅前広場再整備プロジェクト」として、一部施設について都市再生推進法人の指定を受けたエリアマネジメント組織が整備することや、滞留空間や緑の維持管理、公共施設の管理、情報発信、賑わい施設の運営について取り組むことを位置づけた。



4. 基盤整備の見込み・今後の課題

- ・令和6年度に高の原駅前広場実施設計を行い、令和7年度の基盤整備着手を目指す。
- ・今後は、公民連携のエリアプラットフォームの立ち上げ、エリアマネジメント組織への都市再生推進法人の指定等、整備後の駅前広場空間の活用や運営・維持管理に向けた具体的な動きを支援することが課題となる。